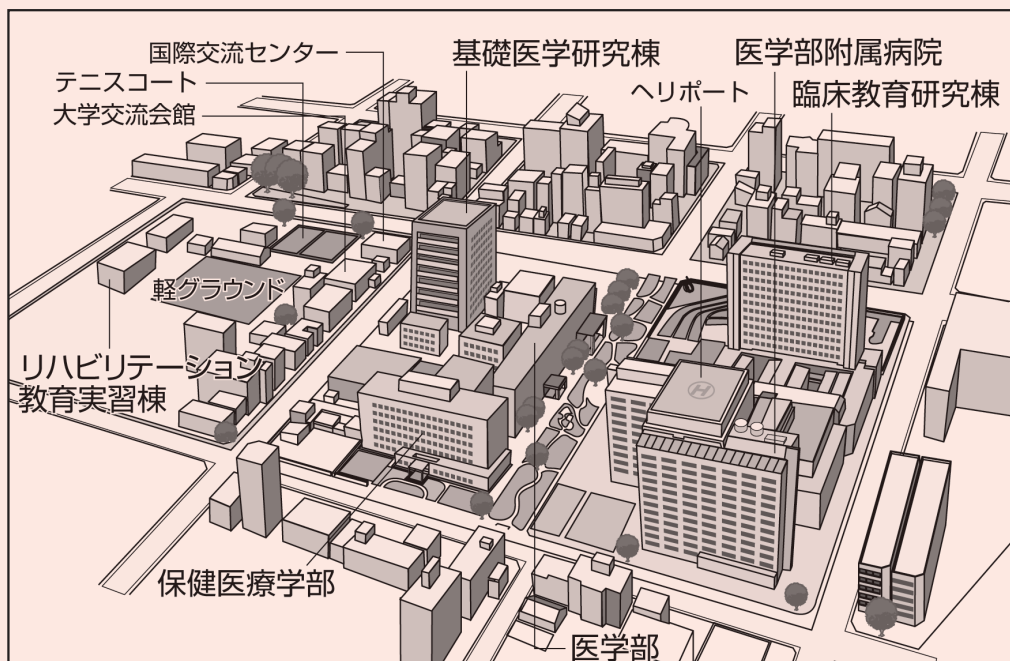


平成16年度 第2次 学生募集要項

札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 (修士課程・博士課程前期)

【看護学専攻】
【理学療法学・作業療法学専攻】



平成 15 年 11 月

札幌医科大学

平成16年度 第2次 札幌医科大学 大学院保健医療学研究科 (修士課程・博士課程前期) 学生募集要項

平成16年4月本学大学院保健医療学研究科(修士課程・博士課程前期)に入学させる学生を次のとおり募集します。

選抜方法は、「一般選抜」と「社会人特別選抜」を実施します。

1 専攻と募集人員

- (1) 看護学専攻 10名程度 (社会人特別選抜による若干名を含む。)

専門領域	教育研究分野
看護学実践領域	女性健康看護学 小児健康看護学 地域看護学 成人・老年健康看護学 精神看護学
看護教育学・管理学領域	看護教育学 看護管理学

- (2) 理学療法学・作業療法学専攻 4名程度 (社会人特別選抜による若干名を含む。)

[※の教育研究分野については、今回は募集しません。]

専門領域	教育研究分野
理学療法学領域	※徒手療法学 ※スポーツ療法学 身体機能代償学 ※神経障害理学療法学 発達障害理学療法学 ※内部障害理学療法学 ※地域リハビリテーション学 ※運動科学
作業療法学領域	※作業科学 活動能力障害学 感覚統合障害学 精神障害作業療法学 地域・老年作業療法学 神経精神機能障害学

2 出願資格

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。

(出願にあたっては、志望する教育研究分野の教員とあらかじめ連絡を取ることをおすすめします。)

「一般選抜」

- (1) 大学を卒業した者及び平成16年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第68条の2第3項の規定により学士の学位を授与された者及び学位授与機構に学士の学位授与を申請中の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (5) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学の大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

- (7) その他本学の大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 (8) 外国人留学生については、別に定めます。

注： 出願資格(5)、(6)、(7)により出願しようとする者は、志望する教育研究分野の教員または事務局学務課に事前に問い合わせてください。

「社会人特別選抜」

社会人特別選抜を志願することができる者は、上記の出願資格のいずれかに該当するもので、入学時において3年以上の実務経験を有するものとします。

今回募集する教育研究分野の問い合わせ先

専攻名	専門領域	教育研究分野	教員 (内線番号)	
看護学専攻	看護学実践領域	女性健康看護学	丸山知子 (2856) maru@sapmed.ac.jp	
		小児健康看護学	石塚百合子 (2865) yuri@sapmed.ac.jp	
		地域看護学	平野憲子 (2864) noriko@sapmed.ac.jp	
		成人・老年健康看護学	門間正子 (2966) momma@sapmed.ac.jp	
		精神看護学	影山セツ子 (2843) kageyama@sapmed.ac.jp	
	看護教育・ 管理学領域	看護教育学	稲葉佳江 (2850) iyo@sapmed.ac.jp	
		看護管理学	Gurpal.Sandhu (2860) sandhu@sapmed.ac.jp	
	理学療法学・ 作業療法学専攻	理学療法学領域	徒手療法学	宮本重範 (2871) miyamoto@sapmed.ac.jp
			身体機能代償学	乾公美 (2875) inui@sapmed.ac.jp
			神経障害理学療法学	吉尾雅春 (2879) yoshio@sapmed.ac.jp
発達障害理学療法学			小塚直樹 (2878) kozuka@sapmed.ac.jp	
内部障害理学療法学			石川朗 (2876) isikawa@sapmed.ac.jp	
運動科学			田中敏明 (2971) toshiaki@sapmed.ac.jp	
作業療法学領域			神経精神機能障害学	村上新治 (2880) shinjim@sapmed.ac.jp
		活動能力障害学	澤田雄二 (2881) yusawada@sapmed.ac.jp	
		感覚統合障害学	仙石泰仁 (2888) sengoku@sapmed.ac.jp	

	作業療法学領域	精神障害作業療法学	青 山 宏 (2889) haoyama@sapmed.ac.jp
		地域・老年作業療法学	後 藤 葉 子 (2887) gotohako@sapmed.ac.jp

代表電話番号 (011) 611-2111

FAX (011) 611-2219

3 出願手続

(1) 提出書類及び検定料

① 入 学 願 書	本学所定の用紙を使用してください。
② 卒業(見込)証明書	出身大学(学部)長が作成したもの(注1,2参照)
③ 調 査 書	出身大学(学部)長が作成の上、厳封したもの(注1,3参照) ただし、本学卒業(見込み)の者は提出を要しません。
④ 学習・研究志望書	A4判縦型用紙(横書)に記載したもの(注4参照)
⑤ 業 績 調 書	主要論文(卒業論文等)の写し及びその要旨並びに論文目録 及び社会活動等を記入したもの
⑥ 健康診断書	本学所定の用紙により、医師が出願前3カ月以内に作成したもの
⑦ 受験票・写真票	本学所定の用紙を使用し、写真(出願前3カ月以内に撮影した上半身、正面、脱帽のもの、縦4cm×横3cm)を貼付してください。
⑧ 入学検定料	30,000円 本学所定の納付書に所要事項を記入の上、北海道収入証紙又は郵便普通為替(「受取人欄」は記入しない。)により納付してください。
⑨ 外国人登録済証明書	日本国籍を有しない者は、市区町村長の発行する外国人登録済証明書(在留資格が明示されているもの)を提出してください。
⑩ 返信用封筒	受験票の送付に使用するので、定型封筒(長型3号)に志願者の氏名及び送付先住所を記入し、430円切手を貼付したもの 速達を希望する場合は、さらに270円切手を貼付してください。

注1: 出願資格(2)により②・③の書類が提出できない場合は、学位授与機構の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った施設の長が作成した単位修得証明書で、厳封したもの

注2: 外国の大学を卒業した場合は、修了証明書及び成績証明書

注3: 調査書は、高等学校卒業後の志望する専攻に関連する高等教育機関の調査書をすべて提出してください。

注4: 学習・研究志望書には、氏名、希望専攻・教育研究分野を明記し、次の事項を適宜記載してください。(看護学専攻志望者は3,000字以上、理学療法学・作業療法学専攻志望者は2,000字以上、自由記載、ワープロ書きが望ましい。)

- 1) 大学院の志望動機、入学目的並びに修了後の将来展望(自己の希望)など
- 2) 希望する研究テーマとその内容・目的・背景について
- 3) 上記に関連する今までの臨床・研究業績又は卒業論文の概要について

* 社会人特別選抜による出願者は、①～⑩の書類に併せて次の書類を提出してください。

⑩ 在職期間証明書	実務経験を3年以上有することを所属の代表者が証明したもの (本学所定の用紙を使用してください。)
⑪ 就学承認書	入学後も社会人として官公庁その他民間会社等に在職のまま 就学する場合には、本学所定の用紙により提出してください。

(2) 願書受付期間

平成15年12月1日(月)から12月19日(金)までに必着とします。

注1: 出願書類を持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けません。

注2: 出願書類を郵送する場合は、書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科
(修士課程・博士課程前期) 願書在中」と朱書してください。また、出願書類を
受理した旨の通知を希望する者は、郵便番号・住所・あて名を記載した官製葉書を
添付してください。

(3) 願書受付場所

札幌医科大学事務局学務課 主査(大学院)

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目 電話(011)611-2111 内線2177

[所在場所は試験会場略図(5ページ)を参照してください。]

4 入学者選抜方法

学力検査、面接、調査書、健康診断などの結果を総合して選考します。

(1) 看護学専攻(一般選抜、社会人特別選抜)

① 学力検査

外国語試験 英語(辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。)

② 面接

志望動機、研究活動の抱負などについて個別面接を行います。

(2) 理学療法学・作業療法学専攻(一般選抜)

① 学力検査

ア 外国語試験 英語(辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。)

イ 小論文

② 面接

志望動機、研究活動の抱負などについて個別面接を行います。

(3) 理学療法学・作業療法学専攻(社会人特別選抜)

① 学力検査

外国語試験 英語(辞書の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。)

② 口頭試問

これまでの研究、臨床、教育活動のほか、志望教育研究分野の基礎知識などについて
個別に口頭試問を行います。

5 試験日程及び試験場所

(1) 看護学専攻

年 月 日	時 間	試験科目等	場 所
平成16年1月31日(土)	9:00~10:30	外国語試験	札幌医科大学 保健医療学部 札幌市中央区 南3条西17丁目
	13:00~	面接	

(2) 理学療法学・作業療法学専攻

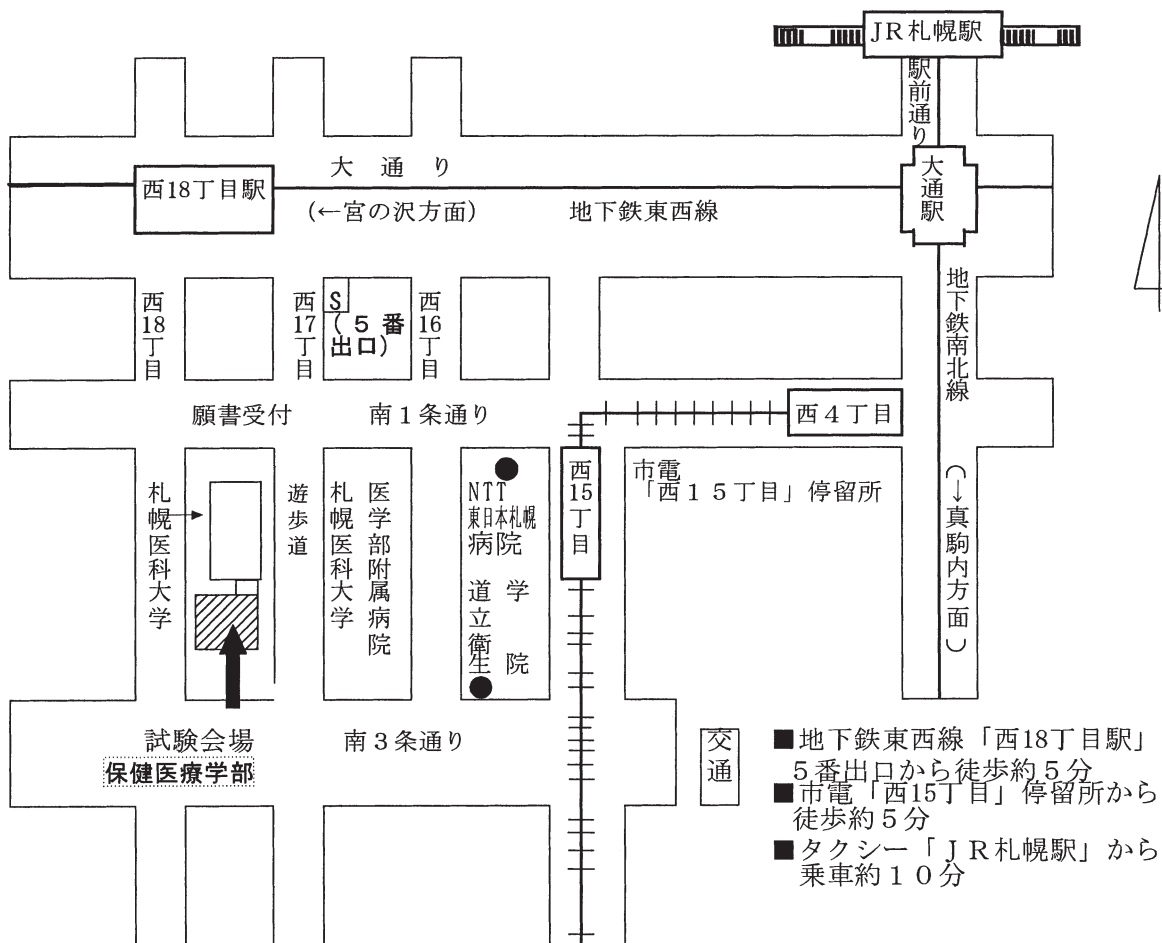
年 月 日	時 間	試験科目等	場 所
平成16年1月31日(土)	9:00~10:30	外国語試験	札幌医科大学 保健医療学部 札幌市中央区 南3条西17丁目
	11:00~12:00	小論文または口頭試問	
	13:00~	面接または口頭試問	

注1： 受験者は、試験当日午前8時40分までに受付を済ませてください。

なお、試験室の開場は、午前8時30分です。

注2： 健康診断書の審査の結果、必要と認められた者には精密検査を行います。

注3： 試験会場略図 札幌市中央区南3条西17丁目 ☎ (011)611-2111 内線2192



6 教育方法

入学後も社会人として在職のまま就学する者への便宜

社会人特別選抜で入学した上記の者に対し、社会人としての職務の遂行と本専攻での履修が両立するよう大学院設置基準第14条特例により、就学上の便宜を図ることもあります。

履修計画については、指導教員のもとに作成します。

7 合格発表

平成16年2月13日（金） 午前10時00分

札幌医科大学保健医療学部正面玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に郵送文書で通知します。（合格発表に関する問合せには、一切応じられません。）

8 入学手続

(1) 入学手続期間

平成16年2月16日（月）から2月27日（金）までに行ってください。

注1： 入学書類を持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

ただし、土曜日、日曜日及び祝祭日は受け付けません。

注2： 入学書類を郵送する場合は、書留速達郵便とし、封筒表面に「保健医療学研究科（修士課程・博士課程前期）入学書類在中」と朱書してください。

(2) 入学手続に必要な書類等

① 入学料	282,000円
② 戸籍抄本	1通
③ 誓約書	
④ 授業料口座振替依頼書	

9 授業料等

(1) 授業料 年額520,800円

年額の2分の1相当額を前期（4月）・後期（10月）の2期に分けて納付していただきます。
なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。

(2) 教育研究活動中に事故を被った場合に対処するため、「学生教育研究災害傷害保険」への加入を義務付けています。（保険料は2年間で1,600円程度）

10 その他

- (1) 提出書類に不備のある場合は受理できません。
- (2) 受理後の書類の内容変更は認められません。
- (3) 納付した入学検定料・入学料及び提出書類は返還しません。
- (4) 本募集要項に関して、不明な点があれば下記にお問い合わせください。

札幌医科大学事務局学務課 主査（大学院）
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
電話 (011)611-2111 内線2177

札幌医科大学大学院保健医療学研究科（修士課程・博士課程前期）の概要

1 目的

札幌医科大学大学院保健医療学研究科（修士課程・博士課程前期）は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的としています。

2 学生定員

看護学専攻 入学定員12名 収容定員24名
理学療法学・作業療法学専攻 入学定員12名 収容定員24名

3 教育研究分野

各専攻において、修士論文の作成につながる教育研究分野を次のとおり構成しています。

専攻名	専門領域	教育研究分野	
看護学専攻	看護学実践領域	女性健康看護学 地域看護学 精神看護学	小児健康看護学 成人・老年健康看護学
	看護教育学・ 管理学領域	看護教育学	看護管理学
理学療法学・ 作業療法学専攻	理学療法学領域	徒手療法学 身体機能代償学 発達障害理学療法学 地域リハビリテーション学	スポーツ療法学 神経障害理学療法学 内部障害理学療法学 運動科学
	作業療法学領域	作業科学 感覚統合障害学 神経精神機能障害学	活動能力障害学 精神障害学作業療法学 地域・老年作業療法学

4 標準修業年限

2 年（※在学期間は、4年を越えることができません。）

5 学位

看護学専攻 修士（看護学）
理学療法学・作業療法学専攻 修士（理学療法学又は作業療法学）

6 教育課程

(1) 教育の方針

- ① 学生が選択する科目相互が有機的に結び付く教育研究指導により、専門職としての発展の堅固な基盤を構築する。
- ② 専門知識と技術の向上を目的とした最新の知見を教授する。
- ③ 専門職の発展に向けて、創造的かつ科学的思考に基づき、自立した行動能力を持つ職業人を育成する。
- ④ 地域の保健医療システムの分析や組織管理に必要な教育科目を置き、地域保健医療の指導的役割を担う人材を育成する。
- ⑤ 先進国から優れた教育・研究の成果を導入し、最先端知識のみならず国際性のある視野の広い実践者、教育者及び研究者を育成する。

(2) 特 色

カリキュラムは、専門科目と共通科目で構成しています。

【専門科目】

大学院の教育・研究の重要な柱をなす専門科目は、専門分野の研究能力を相乗的に高めることを目的に、必修科目及び選択科目で構成する。必修科目及び選択科目は、学生が希望する研究課題を踏まえ、指導教員の指示のもと、特論、特論演習及び特別研究を履修する。

【共通科目】

共通科目は、専門科目の基礎となる知識、方法論及び研究法を修得することを目的に設定する。特に、保健医療福祉システム、保健医療福祉関連職種の役割・連携、情報ネットワークの活用方法や自然科学分野及び人文社会科学分野における研究法を教授する。

(3) 履修基準

【看護学専攻】

区 分	所 要 単 位	
必 修	・看護理論学特論	1 単位
	・看護理論学特論演習	1 単位
	・看護学研究法特論	1 単位
	・看護学研究法特論演習	2 単位
	・看護倫理特論	2 単位
	・看護学特別研究	8 単位

選 択	・看護学基盤領域の支持科目	2 単位以上
	・共通科目	2 単位
	・看護学実践領域又は看護教育学・管理学領域の いずれかの領域	5 単位
	・上記により選択した科目以外の科目	6 単位以上
合 計		30 単位以上

【理学療法学・作業療法学専攻】

区 分	所 要 単 位	
必 修	・理学療法学・作業療法学特別研究	8 単位
	・リハビリテーション理論研究特論	2 単位
	・リハビリテーション研究法特論	2 単位
	・主要専攻分野の科目	4 単位
選 択	・理学療法学領域又は作業療法学領域の いずれかの領域	4 単位
	・専門支持科目	2 単位
	・共通科目	2 単位
	・上記により選択した科目以外の科目	6 単位以上
合 計	30 単位以上	

(4) 修了要件

原則として2年以上在学し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を在学期間中に提出して本研究科の行う審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとします。

7 授業科目の概要

別表のとおり

別表

授業科目の概要

(注) 担当教員の欄～*：非常勤講師

【看護学専攻専門科目】

【ゴシック体：必修科目】

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
看護学 基盤領域	看護理論学特論	1	丸山 知子	看護ケアの基本理論を歴史的及び学際的視点から展望し、理論構築の要素とその過程について論じる。 また、実践科学としての看護学の特質と看護理論モデルを通して学問としての看護学を探究する。
	看護理論学特論演習	1	丸山 知子	看護ケアの基本理論から特定の理論モデルを選択し、理論の構造、要素等理論構築の過程と主要概念について分析し、看護ケアと看護理論の関連について探究する。
	看護学研究法特論	1	選考中	看護研究の枠組み、研究プロセスの理解と質的・量的研究法の種類と特徴及び研究に伴う倫理とその課題について論じ、研究者としての基本的資質について理解を深める。
	看護学研究法特論演習	2	石塚 百合子 Gurpal Sandhu 影山 セツ子	看護における質的研究法及び量的研究法について、学生は既存の文献から各々数件を選択し、クリティークを行い、看護研究に必要な理論的思考、批判力及び研究を実践するための基本的能力を培う。
	看護倫理特論	2	稲葉 佳江 傳野 隆一 *小野 滋男 *旗手 俊彦	倫理の基本的概念と照応する看護倫理の概念、看護の本質性と実践過程としての看護の科学性と倫理性などについて検討するとともに、生命倫理や医療倫理との共通類似性、相連性の観点からも検討し、その概念的深化・発展を図る。また、我が国と西欧国における看護倫理の理論的比較から、我が国の倫理観について社会文化的背景から分析する。
	看護技術学特論	1	稲葉 佳江 大日向 輝美 堀口 雅美	看護実践の要素のひとつである看護技術の概念と構造を検討する。また、このことを通して、看護における科学と技術、看護技術と看護過程の関連性を理解するとともに、看護実践における看護技術学の可能性を考察する。
	看護技術学特論演習	2	稲葉 佳江 大日向 輝美 堀口 雅美	看護技術学特論と連動し、看護実践の構造を看護技術学的に考察する。また、ヘルスアセスメント技術の要素である身体診査、心理・社会的診査の方法について演習する。
	病態生理学特論	2	笠井 潔	腫瘍、循環障害、自己免疫疾患、遺伝子疾患、先天性疾患、代謝性疾患等の主な病態に関して、健康から病態へ至る過程を分子機構や遺伝子機構を中心に学習する。更に健康から病態へ至る過程に深く関与する生体防御機構としての免疫系や炎症について、その恒常性維持機構や分子機構を学習する。また、人体の病態からの修復や回復過程の機構について、その分子機構を中心に学習する。以上より、健康から病態、病態から回復に至る一連の過程の機構について理解を深める。
	病態治療学特論Ⅰ	2	鬼原 彰	経済・社会の発展と高齢化が急速に進展している現代社会において、代謝疾患（糖尿病、高脂血症、高尿酸血症）を有する国民は膨大な数となっている。これらの疾患と看護の関わりを追究する。

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
看護学 基盤領域	病態治療学特論Ⅱ	2	傳野 隆一	近年、診断・治療技術の発達や使用機器の進歩によって、一方では根治性を追及した拡大手術が、他方ではQOLを重視した縮小手術が行われるようになってきている。したがって患者に最も適した治療法を選択しなければならない。 看護は最新の知識を身に付け、患者が安心して治療に専念できるように援助していく必要がある。そのために術前・術中・術後における患者と看護の関わりを追及する。同時にトピックスを講義の中に取り入れて討論する。
	人間環境学	2	片倉 洋子	人は、環境の中で生きており、環境は人の健康に影響を与える。 また、人の生命活動は、環境の質的变化をおこさせたり、環境に積極的に働きかけて新しい環境をつくり出したりする。 本科目では、人と環境が相互に作用し合っている間柄であり、人の生活は様々な環境とのかかわりの中で維持されることを看護管理の立場で考える学習を目指す。また、最近の社会的環境問題についても考察を深める。
看護学実践 領域	女性健康看護学特論	3	丸山 知子	近年、社会の変化や高齢化に伴い、女性の健康問題も多様化、複雑化し、社会や医療においても関心が高まってきた。 本科目では、女性のライフサイクルにおける健康について、社会的、国際的視点、および国内外の研究の動向について探索し、各ステージの課題や問題を文献を通して明確化する。
	女性健康看護学特論演習	2	丸山 知子 杉山 厚子	本科目では、女性のライフサイクルの各ステージの課題や問題の中から、関心のあるステージを選択し、その課題や問題に対する文献を通して、日本と海外の実態を分析し、探求する。さらにその課題や問題に対する看護アプローチについて試作し、考察する。
	小児健康看護学特論	3	石塚 百合子 今野 美紀	小児期は、心身共に量的にも質的にも変化の激しい時期であり、周辺の環境条件に影響を受けやすい。さらに、この時期の健康は後のライフステージに大きな影響を及ぼす。このような特徴をふまえて、子どもの各発達段階における健康課題を子どもの成長・発達と家族・生活環境に関連させながら看護理論を踏まえて探求する。
	小児健康看護学特論演習	2	石塚 百合子 今野 美紀	本科目では、小児看護の立場から子どもの健康課題や問題について国内外の文献から検索し、子どもの成長発達に与える影響、看護介入の方法を探求する。
	地域看護学特論	3	選考中 平野 憲子	今日の我が国並びに諸外国の地域看護を取りまく看護事象や課題をとらえると共に、その中における保健医療福祉の動向とシステムをおさえる。あわせて地域看護の多様な対象から求められるニーズに応えるためその基盤となる地域看護の諸論理と地域看護の提供方法、あり方について探求する。
	地域看護学特論演習	2	選考中 平野 憲子 加藤 欣子 和泉 比佐子	地域看護学演習では、特論で学んだ理論に基づき身近な課題を地域看護学の専門的アプローチによって捉えなおすことにより、実践のふり返りと同時に実践に生かせる地域看護モデルの構築と介入方法を探求する。

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
看護学実践領域	成人・老年健康看護学特論	3	選考中 深澤 圭子 門間 正子	高度医療の場で生命に関わる脅威に対する人間の反応に専門的に関わるクリティカルケア看護と成人・老年健康看護に焦点を当て、個人及び家族に対する援助方法論について学習する。
	成人・老年健康看護学特論演習	2	選考中 深澤 圭子 門間 正子	成人・老年健康看護学における課題について、実際の事例や体験を通して分析する。
	精神看護学特論	3	影山 セツ子 吉野 淳一	文献購読や事例分析を通して、精神の健康問題に取り組む。個人及び集団の理解や援助に関する理論並びに研究方法について検討し、さらに精神看護学の現状と課題について考える。
	精神看護学特論演習	2	影山 セツ子 吉野 淳一	事例やロールプレイング及びフィールドワークなどを通して精神看護学における個人、集団の援助に必要な技術を多角的に検討する。
看護教育学・管理学領域	看護教育学特論	3	稲葉 佳江 大日向 輝美 *近藤 潤子	看護教育を歴史的観点から概観し、世界の看護教育制度について社会的背景との観点から論じる。看護教育課程とその構成要素について、社会的背景及び教育の本質を基盤に探究し、看護教育カリキュラムモデルを通して理解を深める。
	看護教育学特論演習	2	稲葉 佳江 大日向 輝美 *所 伸一	看護学士課程のカリキュラム及び1科目のシラバスの作成、授業展開を通して、カリキュラム、教授－学習活動における各要素について検討する。この体験を通して、教授－学習方法の技法を培い、学生中心の教育活動に対する問いを基に、教育者としての資質について認識を深める。
	看護管理学特論	3	Gurpal Sandhu *選考中	このコースは、“継続的医療の質の向上”ということに視点を当てている。医療ケアサービスが急速に変化する今日の医療ケア実践において、ケア提供チームの要となる看護師は適切な判断力と決定能力の向上が不可欠である。本コースでは医療の質向上に欠かせない、医療ケアの効果と継続性、経済性と効率性および医療提供へのネットワークなどを、実践へと進めるための課程と技術を習得していく。
	看護管理学特論演習	2	Gurpal Sandhu *矢野 正子 *太田 茂樹 *大城 辰美	医療制度改革が行われる医療界において、保健医療福祉との連帯を踏まえ、看護管理者の役割と機能について歴史的、制度的観点より考察、分析、検討する。アメリカの医療の変遷を分析し、日本の医療と比較し、医療の質の問題、地域ネットワークの構造、医療経営におけるコストの問題について日本の将来の医療を展望し、それにふさわしい看護管理者としての管理能力を養う。
看護学特別研究	8	専門分野に 応じた教員	看護学実践領域（女性健康看護学、小児健康看護学、地域看護学、成人・老年健康看護学、精神看護学）又は看護教育学・管理学領域（看護教育学、看護管理学）の分野の中から研究課題を選択し、その研究プロセスを実践し、修士論文として作成、提出する。	

【理学療法学・作業療法学専攻専門科目】

【ゴシック体：必修科目】

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
理学療法学 領域	徒手療法学特論	2	宮本重範 青木光広	筋・骨格系の運動機能障害に対する徒手療法(Manual Therapy)に関し、関節および周辺組織の構造・機能について理解を深めるとともに、運動学的、神経生理学的観点から考察し、系統的な評価・治療方法について学習する。
	徒手療法学特論演習	2	宮本重範 青木光広	徒手療法学に関する研究の理解を深めるために、文献的考察や症例検討を通して診断の補助となる正確な評価方法を学習する。
	スポーツ療法学特論	2	片寄正樹	スポーツ外傷の成立機序、外傷の部位別及び競技別特性について解説するとともに、障害の予防法、評価法及び治療的訓練の実践技法について講義する。
	スポーツ療法学特論演習	2	片寄正樹	文献的考察や症例を通して、評価、治療、予防法の実際と臨床応用について指導する。
	身体機能代償学特論	2	乾公美 石川朗 *野坂利也	身体機能の代償法について、基本的な原理を基に最新の知見を検討する。また、介護者保護のための福祉機器についても講義する。
	身体機能代償学特論演習	2	乾公美 石川朗 *野坂利也	個々の身体機能障害者に対する最も適した代償機能について討議し、その有効性を検証する。内的機能代償について、骨格筋の特性について演習する。
	神経障害理学療法学特論	2	吉尾雅春	中枢神経障害による様々な病態を脳・脊髄の機能解剖学的見地を基礎にしながら理解する。また、認知過程、運動制御、中枢神経系の回復の可能性と限界などについて学び、より効果的・効率的な理学療法のあり方を考える。
	神経障害理学療法学特論演習	2	吉尾雅春	中枢神経障害患者の姿勢や運動障害、認知障害、痛みなどの病態・現象を症例を通して分析評価し、MRIなどの画像所見を加えて理解を深める。また、臨床における問題や疑問を解決していくための方法を学び、より効果的な理学療法を考え試行できるようにする。
	発達障害理学療法学特論	2	小塚直樹	発達障害(脳性麻痺をはじめとする中枢神経障害及び神経筋疾患を起因とする発達障害)に対する理学療法の必要性は高く、臨床では現在多くの患者が対象となっている。 発達障害児に対する理学療法の特殊性を考えたならば、小児神経学を基盤とした臨床診断と評価の理解が重要であり、これら一連の中に存在する科学的機能診断技術、科学的理学療法を分子生物学的手法、電気生理学的手法、運動解析的手法を用いながら追求する。
	発達障害理学療法学特論演習	2	小塚直樹	発達障害理学療法学特論で学習した事項に基づき、いくつかの疾患に焦点をあて、それら疾患の病態を運動学的、神経学的、分子生物学的に解析し、理学療法、リハビリテーションとの接点を追求する。
内部障害理学療法学特論	2	石川朗	身体運動を遂行するためには、呼吸循環機能による酸素運搬系と炭酸ガス搬出系の円滑かつ総合的な働きが重要であり、加えて代謝機能の働きも不可欠である。 本科目においては、特に呼吸器疾患・循環器疾患の理学療法・リハビリテーションと、主に糖尿病を対象とした代謝疾患に対する理学療法に関し学習する。	
内部障害理学療法学特論演習	2	石川朗	特論の講義内容を基礎として、内部障害理学療法学の検証とその応用について、運動負荷試験等による実験を通して学習する。	

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
	地域リハビリテーション学特論	2	橋本 伸也	地域リハビリテーションについて、概念やシステム、方法などを講義する。さらに、保健・福祉・医療の連携を踏まえたリハビリテーションの地域展開と、生活支援に関わる地域リハビリテーションの在り方を学習する。
	地域リハビリテーション学特論演習	2	橋本 伸也	地域リハビリテーションの技術的要素である各種療法の適用や援用、住環境の調整、社会資源の活用について講義する。
	運動科学特論	2	田中 敏明 高柳 清美	ヒトの関節運動、静的・動的平衡の維持及び運動の遂行に関し、運動学的・神経生理学的研究法について講義する。また、リハビリテーション工学的研究法についても理解を深める。
	運動科学特論演習	2	田中 敏明 高柳 清美	特講の講義内容を基盤とし、演習を通して運動学的・神経生理学的計測・分析手法についての理解を深める。また、リハビリテーション工学における福祉用具・介護支援機器の開発手法について理解を深める。
	機能解剖学特論	2	乗安 整而	土台と移動のための下肢、および自由を得て生活の創造のために役立つ上肢等を中心として、運動器の具体的な構造の解明のための講義を行う。またそれらがリハビリテーションの臨床場において如何に活用、利用されると望ましいか理解も深める。
	機能解剖学特論演習	2	乗安 整而 吉尾 雅春	解剖学実習を通して、運動器の詳細な構造と機能の関連を探索し、理解する。
	身体科学特論	2	武田 秀勝 館 延忠	リハビリテーションにおける運動療法あるいは作業療法が効果的に行われるためには、年齢、性、体力や障害部位や病体を考慮した運動様式と強度が求められる。 本特論において、身体行動に伴う骨格筋の生理学やストレスが生体の内部環境に及ぼす影響や心理的影響を知る必要がある。 特に年齢、性及び障害部位により運動様式と強度が神経系、内分泌系、免疫系及びエネルギー代謝などの生体内部環境に及ぼす影響について教育・研究する。
	身体科学特論演習	2	武田 秀勝 館 延忠	年齢、性差により種々の運動様式と強度が内部環境に及ぼす影響、心理的影響について実験を通して教育・研究する。
作業療法学領域	作業科学特論	2	選考中	近年、作業療法学の基礎的学問として「作業」研究が世界的に進められるようになってきた。アメリカでは博士課程における作業学研究が進められており、それらの知識を基盤として日本における作業学の構築に向けて、作業療法における作業を社会、文化、心理、生物学等様々な視点から学習する。
	作業科学特論演習	2	選考中	特論の講義をさらに深めるために、文献探索と講読並びに発表及び症例研究を通して、作業療法の基盤としての作業の治療的意義について学習する。
	活動能力障害学特論	2	澤田 雄二 中村 真理子	疾病や外傷によって生じた永続的な運動障害に対する作業療法は、種々の作業や活動を治療手段として用いることによって、対象者から望ましい運動機能を引き出し、生活に適應する能力を高めることが目的となる。 そして作業療法の効果判定には、運動機能の改善の程度を、健常者と比較し検討することが必要となる。 ここでは運動機能の解析を、機能解剖学、運動学、運動生理学、運動発達学、人間工学的観点から行うことを学習するとともに、作業・活動の持つ特性が身体機能に及ぼす作用について検討し、障害者の生活適應能力を高めるための作業療法の治療手段確立の方策について学習する。

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
作業療法学領域	活動能力障害学特論演習	2	澤田雄二 中村真理子	本特論の講義内容を基盤として、内外の関連文献を検索するとともに、具体的な研究方法の策定や、目的動作を遂行する過程で生じる運動を解析する方法について動作解析的手法や筋電図学的手法等を用いて具体的に学習し、論文作成法について学習する。
	感覚統合障害学特論	2	仙石泰仁	作業療法の理論的枠組みの一つである感覚統合療法について、神経生物学、神経行動学、及び人間発達、適応行動等との関係からその知識基盤、理論、評価法、治療法について学習する。
	感覚統合障害学特論演習	2	仙石泰仁	感覚統合理論の原理、評価法、治療法について、文献探索と講読並びに症例的研究法により検討するとともに、様々な中枢神経障害児(者)への応用を学習する。
	精神障害作業療法学特論	2	青山宏 池田望	現代社会には、社会病理、家族病理、社会病理など様々な危機的状況が存在する。そのような状況下で、人の精神的な健康に関する問題の増大やそれに対する予防、治療、リハビリテーションを考えていくことは重要な課題である。特に、精神障害などの不健康に至ったものに対して、早期治療、リハビリテーション活動などによって精神的な不健康による障害をできるだけ防止し、社会参加を促すため、作業療法は重要な役割を担っている。本科目では、臨床における作業療法を構成する個人、作業、集団などの要素と、家族、社会などの環境的側面のダイナミックな関連を心理社会的側面から検討し、生活する人としての障害者を援助していく方法を学習する。
	精神障害作業療法学特論演習	2	青山宏 池田望	特論の講義内容を基盤に、関連文献の検討および臨床症例の詳細な検討を通して、臨床における作業療法の治療構造の解明と、個人的背景、環境的要因をふまえた治療・援助に必要な知識や技術について多元的な視点から学習す
	地域・老年作業療法学特論	2	後藤葉子 坂上真理	地域・高齢者支援の対象や関連領域が拡大する状況を踏まえ、対象疾患並びに障害に関する理解を深めるとともに、作業療法の基盤となる知識・理論を運動生理学、生涯発達学、心理・社会学を始めとする幅広い分野より学ぶことを通して作業療法に適した評価法、治療法、予防的介入法について学習・検討する。また、地域支援の場で必要となるマネジメント論について学ぶ。
	地域・老年作業療法学特論演習	2	後藤葉子 坂上真理	国内外の文献探索及び事例研究を通して本特論の講義内容を深めるとともに、フィールドワークをまじえながら必要となる研究方法について演習する。
	神経精神機能障害学特論	2	村上新治 *青木藩 *齋藤利和	リハビリテーション医療の対象の多くは、脳卒中や頭部外傷など何らかの中枢神経系の障害を持つ人々である。理学療法や作業療法の評価並びに実践に必要な最新の脳解剖・機能及び障害に伴う症状とその原因、診断、治療法及び関連研究の方法について学習する。
神経精神機能障害学特論演習	2	村上新治 *青木藩 *齋藤利和	神経精神機能障害学特論の講義から得た知識を基本として、更にそれらを深めるために文献検索、講読及び実験的実習を通して理解を深める。	

専門領域	授業科目	単位数	担当教員	授業科目の概要
	理学療法学・作業療法学特別研究	8	専門分野に 応じた教員	理学療法学領域又は作業療法学領域の分野の中から研究課題を選択し、その研究プロセスを実践し、修士論文として作成、提出する。
専門支持科目	リハビリテーション 理論研究特論	2	宮本重範 青山宏	リハビリテーション医療における作業療法学及び理学療法学確立の背景にある様々な理論、モデル、パラダイム等を今世紀初頭からの文献を基本に分析し、理論-実践の関係と理論構築の展望を講義する。
	リハビリテーション 研究法特論	2	乾公美 Gurpal Sandhu 片寄正樹	本講義は、特別研究計画書の書き方を量的及び質的研究法から学習することを目的とする。 また、文献検索と考察の基本となる系統的文献レビューの方法について学習する。
	リハビリテーション 教育学特論	2	乾公美 *所伸一	リハビリテーション医療領域での教育的指導者育成の視点から、教育哲学、原理、評価法、教授法、教育計画（カリキュラム）の作成について学習する。
	リハビリテーション 管理学特論	2	宮本重範 *選考中	リハビリテーション医療領域における指導・管理者育成の視点から、リハビリテーション管理の理論的背景とシステムに関する基礎知識及び理学療法並びに作業療法の具体的管理機能と方法について学習する。
	リハビリテーション 特別課題研究	2	専門分野に 応じた教員	院生の関心領域をさらに深めるために、担当教員の指導に基づいて特定の課題を設定し、研究する。院生の自主的な課題探索能力及び理学療法学・作業療法学特別研究に向けて援助となる課題研究が期待される。

【看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻共通科目】

授 業 科 目	単位数	担 当 教 員	授 業 科 目 の 概 要
保健医療システム特論	2	大柳 俊夫 *三宅 浩次	北海道は日本の国土の22.1%におよぶ広大な面積を有し、日本人口の4.5%に過ぎない北海道全人口の3分の1が札幌に集中居住する過疎と過密の地域特性を有す。また、全国平均以下の健康水準、全国一の高い医療費などの問題の多い北海道において、このような北海道特有の地域特性を克服して、道民への平等で質の高い保健・医療・福祉を提供する新しい保健医療システムの構築は必須のものである。 本特論では、保健医療システム、保健・医療・福祉の情報化、遠隔保健医療システムの現状等を学習し、今後実現が望まれる新しい保健医療システムの在り方について考える。
保健医療システム特論演習	2	大柳 俊夫	保健医療分野における情報化が急速に進みつつある現在、医療従事者にとって情報処理技術の習得は必要不可欠のものと考えられる。 本特論では、高度情報技術の保健医療応用の実践を目標として、(1)データベース構築、(2)WEBプログラミング、(3)マルチメディアコンテンツの作成と編集、などの最新の情報処理技術を学ぶとともに、具体的な保健医療情報システムの構築を行う。
ヒューマンサイエンス研究法特論Ⅰ	2	藤井 博匡 山田 恵子	人体の機能や生命現象を理解するためには、物質代謝と遺伝子の知識が必須である。保健医療分野においても、その必要性はますます高まりつつある。 本講義では遺伝子レベル、分子レベルで生命現象を理解するための基本的な実験方法（特に、生体物質を定性的及び定量的に分析する方法）を学習しながら、自然科学的アプローチの特徴を理解する。
ヒューマンサイエンス研究法特論Ⅰ演習	2	藤井 博匡 山田 恵子	保健医療学分野への応用研究を意識して、分子生物学を中心にした生命科学分野において展開される方法を具体的な実験及び演習を通して学習する。
ヒューマンサイエンス研究法特論Ⅱ	2	松嶋 範男 道信 良子 根本 慎	1 科学方法及び科学に使われる論理について学習する。 2 民族誌的フィールド調査の基本的発想と技法を理解する。民族誌的著作を吟味する作業を通して民族誌に関する理論的考察も行う。 3 言語構造と機能、言語によるコミュニケーションについての基本的概念、接近法を学ぶ。
ヒューマンサイエンス研究法特論Ⅱ演習	2	松嶋 範男 道信 良子 根本 慎	1 論文の作成及び文献検索の仕方を学習する。 2 民族誌的フィールド調査の方法論を実際の調査活動と記述行為を通して学ぶ。 3 参加者はそれぞれの関心に応じて調査の計画を立て、それを実施し、調査報告を行う。（調査の計画の立て方については特論Ⅱについて具体的に説明する） 4 言語による表現と解釈を語用論、認知論的側面から考察する。
保健医療統計学特論	2	高橋 義信	保健医療領域における実証的研究に不可欠な統計的技法、すなわちデータの要約と記述、各種の統計的検定、及び実験計画法を学習する。
保健医療統計学特論演習	2	高橋 義信	論文作成に必要と思われる統計手法を駆使するため、統計的な理論や基本的な仮定について理解を深める。

平成16年度 第2次 札幌医科大学 大学院
保健医療学研究科（修士課程・博士課程前期）
入 学 願 書

※受付	月 日第	号	※受験番号		受験区分	一般 社会人特別
ローマ字 氏 名 (性 別) [Ⓔ] (男・女)			生年月日	昭和・西暦 年 月 日	
			国 籍		年 齢	歳
志 望 専 攻	看 護 学 専 攻			理学療法学・作業療法学専攻		
志望専門領域	領域			領域		
志望教育研究分野	学			学		
出願資格	(1) 昭和 年 月 大学 学部 学科 卒業 平成 卒業見込					
	(2) 昭和 年 月 学位 取得 学士 (学) 平成 取得見込					
	(3) その他					
関連医療資格等	○資格名			○取得年月日		
	○登録番号 第 号			昭和・平成 年 月 日		
	○資格名			○取得年月日		
	○登録番号 第 号			昭和・平成 年 月 日		
○資格名			○取得年月日			
○登録番号 第 号			昭和・平成 年 月 日			
現住所 (連絡先)	〒 (電話 - -)					
本学入学の 志望動機						

履 歴 書		
学 歴	年 月 日	高等学校卒業
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
職 歴	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
賞 罰	年 月 日	
	年 月 日	
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 ㊟</p>		

【記入上の注意】

◎入学願書

- ① 記入事項は、楷書で記入するとともに、該当事項に○をつけてください。
- ② ※印の欄は記入しないでください。
- ③ 志望専門領域、志望教育研究分野の欄は、志望専攻に応じて、志望する事項を適宜記入してください。
- ④ 関連医療資格等の欄は、医師、保健婦、看護婦、理学療法士、作業療法士のほか医療、福祉関係などの資格取得状況を適宜記入してください。
- ⑤ 志望動機の欄は、教育研究分野の志望理由、大学院における抱負など適宜記入してください。

◎履 歴 書

- ① 学歴は、高等学校卒業から記入してください。
- ② 履歴は、空白の期間が生じないように記入してください。

業 績 調 書

氏名

(平成 年 月 日現在)

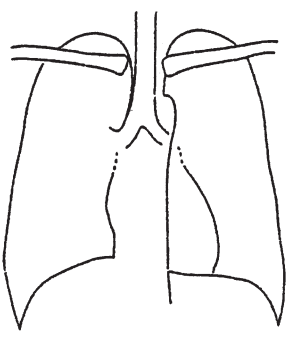
1 これまでの著書、学術論文、学会発表等の活動			
著書、学術論文、学会発表等の名称	発行又発表の年月日	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	共著者又は共同発表者名
著書			
学術論文			
学会発表(施設内発表を含む)			
その他			
2 現在の研究内容			

注1 本様式(A4版)にならい作成されたものでも可。また、書ききれない場合は、同様の形式のものを付加してください。

2 「著書、学術論文、研究発表等」の欄は、最新のものから順次記載すること。

3 学術論文については、主なものを提出してください。

平成16年度
札幌医科大学大学院保健医療学研究科
(修士課程・博士課程前期)
入学志願者健康診断書

受付番号	※	受験番号	※
フリガナ 氏名 生年月日	----- 昭和 年 月 日生 男・女	現住所	
診 断 事 項			
視力	左 ・ (・) 右 ・ (・)	就学上配慮すべき事項	
胸部エックス線検査	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 直接 間接 </div>  <p style="text-align: center;">平成 年 月 日撮影 フィルム番号</p>		
	所見		
主罹な患既時往の症年と齡		主な現疾患	(入学後の健康管理上注意すべき疾病の有無とその内容)
<p>診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>所在地</p> <p>医療機関名</p> <p>医師の氏名 ㊟</p>			

記入上の注意

- 1 ※印欄以外はもれなく記入してください。
- 2 視力の () は矯正視力を記入してください。
- 3 主な既往症の欄は、疾患名と罹患時の年齢を記入してください。
- 4 出願前3か月以内に発行された診断書に限ります。
- 5 この診断書は、診断医が厳封(開封無効)し、受診者に交付してください。

受験票	
受験番号	※
氏名	
志望専攻	専攻
志望専門領域	領域
志望教育分野	学
【試験日程】 平成16年1月31日(土) 9:00～10:30 外国語試験 11:00～12:00 PT・OT専攻 小論文又は口頭試問 13:00～ NS専攻 面接 PT・OT専攻 面接又は口頭試問	【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、脱帽の写真を貼付してください。
【試験場】 札幌医科大学保健医療学部 札幌市中央区南3条西17丁目 電話 011-611-2111 内線 2192	

- ・ ※印欄は記載しないでください。
- ・ 志望教育研究分野等の欄の記載は、入学願書と同様にしてください。
- ・ 看護学専攻志望者は、志望専門領域欄の記載を要しません。
- ・ 試験当日は、この受験票を必ず持参ください。

写真票	
受験番号	※
氏名	【写真貼付】 縦4cm×横3cm 出願前3ヶ月以内に撮影した正面、上半身、脱帽の写真を貼付してください。
(昭和) 年 月 日 生 (歳)	(男・女)
志望専攻	専攻
志望専門領域	領域
志望教育分野	学
※【摘要】	

- ・ ※印欄は記載しないでください。
- ・ 志望教育研究分野等の欄の記載は、入学願書と同様に記載してください。
- ・ 看護学専攻志望者は、志望専門領域欄の記載を要しません。

受 験 上 の 注 意

- 1 試験当日午前 8 時 40 分までに受付を済ませてください。
なお、試験室の開場は、8 時 30 分です。
- 2 各教科の試験開始 5 分前までに、試験室に入室してください。
- 3 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めません。ただし、試験時間の延長は、できません。
- 4 試験室では、机上の受験番号と受験票の受験番号が同一であることを確認のうえ着席してください。
- 5 机上には、受験票・鉛筆・消しゴム・時計・英語辞書（和英、英和、英英）以外の所持品は置けません。
- 6 試験室に入室してから試験終了までの間、退出は認めません。試験中の発病、用便等やむを得ない場合は、監督員の指示に従ってください。
- 7 試験室に携帯電話を持ち込む際は、必ず電源を切ってください。

平成16年度 第2次
 札幌医科大学大学院保健医療学研究所
 (修士課程・博士課程前期)
 入学検定料納付書

志望専攻名		専攻	受験番号	※
-------	--	----	------	---

受験者（楷書で記入してください）

住 所 -----
 ふ り が な
 氏 名

注 意

- 1 30,000円の北海道収入証紙を購入し、下欄に貼り、印鑑で割印してください。
- 2 北海道収入証紙の購入が困難な場合は、30,000円を郵便普通為替（受取人欄は記入しないでください）とし、この納付書とともに同封してください。
- 3 収入印紙と間違いのないように購入してください。
- 4 北海道収入証紙は、北洋銀行本支店または北海道収入証紙売りさばき所で販売しています。
- 5 北海道収入証紙の種類は、合計が30,000円になれば種類は問いません。
 また、貼り付け欄が足りない場合は、裏面に貼り付けてください。（割印必要）
- 6 ※印欄は記入しないでください。

北 海 道 収 入 証 紙 貼 り 付 け 欄

<div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div> <hr style="border: 0.5px solid black;"/> <div style="display: flex; justify-content: space-between; padding: 5px;"> 印印</div>
--	--	--

（郵便普通為替証書は、貼り付けないで本書に添付してください）

在職期間証明書

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

下記の者について、次のとおり在職している(いた)ことを証明します。

記

氏名等	(昭和 年 月 日生)
在職期間	
職務内容	

平成 年 月 日

所在地

事業所等名

印

代表者

- 1 本様式(A4版)に習い作成されたものでも可。
- 2 複数に勤務した場合は、それぞれの勤務先について提出してください。

就学承認書

札幌医科大学大学院保健医療学研究科長 様

氏 名

生年月日 昭和 年 月 日生

上記の者が、貴大学大学院保健医療学研究科に入学した場合は、大学院設置基準第14条特例により、在職したまま在学することを認めます。

平成 年 月 日

所在地

事業所等名

印

代表者

※本様式(A4版)に習い作成されたものでも可。